

2018 年度 セミナー・研修開催報告

- F D ・ S D セミナー開催報告
- 研修開催報告

2018年度 首都大学東京FD・SDセミナー

「TMU Vision 2030 今から考えよう首都大学東京の10年後」

本セミナーは、本学の教員と職員を対象として、高等教育の在り方や本学の課題について理解を深めることを目的として、首都大学東京FD委員会と総務部総務課の共催で行われるもので、今回で12回目の開催となりました。

2018年度のセミナーでは、検討中であった「TMU Vision 2030」を題材にして、教職員が様々な立場から意見を交換し、「私たちの大学の魅力や強みは何だろう?」、「それを発揮するための課題は?」といった問いを通して、10年先の首都大学東京の在り方を「自分事」として考えるため、教職員合同グループディスカッション形式で開催しました。ここでは、その様子を紹介します。

- 1 日時 2018年6月7日(木) 15:15～17:45
- 2 会場 首都大学東京(南大沢キャンパス)本部棟1階大会議室
(TV会議システムにより、荒川キャンパス・日野キャンパスへ中継)
- 3 参加者 91名
- 4 プログラム

【開会挨拶 及び TMU Vision 2030 の策定にあたって】

上野 淳(首都大学東京 学長)

【TMU Vision 2030 ～策定の現状とディスカッションの狙い～】

鈴木 賢吾(企画広報課企画・評価係長)

【教職員合同グループディスカッション「首都大学東京の10年後」】

ディスカッション司会: 松田 岳士(大学教育センター 教授)

【グループ意見発表】

【各グループの意見を受けて】

上野 淳(首都大学東京 学長)

【閉会挨拶】

山下 英明(首都大学東京 副学長(大学教育センター長 兼 FD委員会委員長))



南大沢キャンパス、日野キャンパス及び荒川キャンパスの3地点を同時中継しながら、部署も専門分野も異なる教職員同士が積極的に意見を交換し、「10年後の首都大学東京をどうしたいか」、「その実現のために自分達は何ができるか」という視点で意見を発表し合いました。

「TMU Vision 2030」は、2018年11月1日に発表されました。大学公式ホームページでもご覧いただけます。(https://www.tmu.ac.jp/university/philosophy/tmu_vision.html)

【ディスカッションのねらい】

TMU Vision 2030 (たたき台) のトップビジョンである「教育」、「研究」、「社会貢献」及び「大学運営」のうち、今回は「教育」及び「社会貢献」をディスカッションの題材としました。

参加者は、教職員混合の6人程度のグループを作り、各グループは以下の視点で「教育」もしくは「社会貢献」について意見交換し、その結果を3キャンパス合同で発表し合いました。

- ① 各トップビジョンを実行するための複数の戦略のうち、どの戦略が重要か
- ② なぜその戦略が必要なのか
- ③ その戦略の実現のために、教職員として、何ができるか
- ④ 現在の戦略に限らない、新しいアイデアを出すことも可能

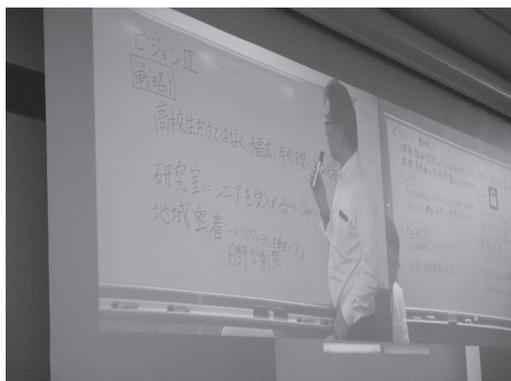
このディスカッションを通じて、参加者自身が「TMU Vision 2030の実現を自分事としてとらえ、どのように貢献できるか、具体例を挙げながら考えることができるようになる」ということを目指しました。



ディスカッション司会
松田 岳士教授

【各グループの意見】(一部抜粋・要約)

- 総合大学だからこそできる、幅広い教養の授業を提供できないか。
- 学生の意欲向上のため、学ぶ意欲のある留学生や社会人と触れ合う環境づくりが大切だと思う。特に、1年次や2年次といった学部の早い時期に、こういったインタラクションが生まれると良い。
- 大学を広く地域に開放して、「入りやすく、親しみやすい、いつでも入ることのできる大学」にしていきたい。
- 「楽しいから行く」をコンセプトにしたミュージアム等をつくり、親しみやすい大学になる。
- 同窓会との連携を強化していく。例えば、「学部等が個別に管理している同窓会情報を一元化する」、「地方の同窓会との連絡をつなぐ」等。



【各グループの意見を受けて】上野学長（一部抜粋・要約）

18歳人口が減少していく中で、18歳から22歳の若者を主なターゲットとしている首都大学東京も、いずれは変わらなくてはならないと誰もが潜在的に意識していると思います。そういった中で、多くのグループが、外国人、社会人、シニア、キッズ、地元住民、都民などといった更に幅広い層に対して、本学がもつ教育研究のリソースをしっかりと提供すべきだという論調で発表いただいたことに心打たれました。これから2030年を考える上では、非常に大事なテーマだと改めて認識いたしました。ありがとうございます。



【閉会挨拶】山下副学長（一部抜粋・要約）

多くのグループから「今までの首都大学東京ではなく、これまでの枠組みを超えて、様々な人を巻き込んで成長していかなければならない。」という非常に強いメッセージをいただいたように思います。Visionに何を書くかということ以上に、Visionに基づき我々は何を実行していくかということが重要なのだと気づかされました。また、今日私が一番嬉しかったことは、皆さんが首都大学東京を愛してくださっていると感じたことです。2030年度になっても、このような方々がいらっしゃる本学は、素晴らしい大学になっていることだろうと思います。



【参加者の感想】（一部抜粋・要約）

- 他学科の教員が教えていること、職員の意見等々が分かり、視野が広がりました。
- 様々な職員の方々と身近にお話できたことが有益でした。
- 教職員で交流する機会は今後もぜひ設けて欲しいです。
- 教員と職員が議論を交わす場は本来、大学としてあるべき姿だと思います。
- グループで考えるプロセスはとても有意義で楽しい時間でした。ありがとうございました。
- 他グループの発表を聴くことで、各ビジョンや戦略について多少理解できました。
- それぞれが大学のことについて真剣に考える機会となりました。

TMU Vision 2030
今から考えよう
首都大学東京の10年後

2018年度
公立大学法人首都大学東京
F・D・S・Dセミナー
(組合司会：中村 基輝 (理学部 准教授・F・D委員幹事員))

教職員合同グループ
ディスカッション！

概要 教育研究組織の再編成を経て新たな首都大学東京として始まった今、改めて本学の存在意義を問い直し、将来のよき大学をどうつくりたいのか考えを深めたい。承認が済んだTMU Vision 2030について積極的な意見交換できるプログラムを通じて、教職員一人ひとりが10年後のあるべき未来像を自分たちで創り上げたいという意欲を広く共有することを目指します。

日時 2018年 6/7 (木) 15:15~17:45

会場 南大沢キャンパス 本館棟1階大会議室
(TV中継：日野キャンパス2号館301室/尾川キャンパス管理棟2階大会議室)

プログラム

- ・「TMU Vision 2030の策定にあたって」上野 淳 学長
- ・「TMU Vision 2030～策定の現状とディスカッションの狙い～」鈴木 賢吾 企画広報課企画・評価係長
- ・教職員合同グループディスカッション「首都大学東京の10年後」ディスカッション司会：松田 岳士 大学教育センター 教授

参加方法 教員：申込不要・当日参加可能 / 職員：総務課による事前申込制

※セミナー終了後、15:00から南大沢キャンパス6号館にて懇談会を開催します。出席される教員の分は5/31(木)までに事務局までメールで連絡ください。

主催：首都大学東京 F・D委員会・総務部総務課 TEL：042-677-2937 (南大沢内線 1036)
企画協力：F・D委員会事務局 教務課教務企画係 広報・新伝 E-mail：fdovw@tmu.ac.jp

首都大学東京